文部科学大臣杯争奪 2026 年度 全国専門学校総合体育大会

第 36 回 全国専門学校サッカー選手権大会

主催

公益財団法人日本サッカー協会
全国専門学校体育連盟、全国専門学校サッカー連盟

主管

関西専門学校サッカー連盟

後援

文部科学省、大阪府、堺市、朝日新聞社

協賛

(株)モルテン、(株)JS コーポレーション、(株)日本ドリコム、(株)ジンジブキャリア、
(株)リクルート、(株)ライセンスアカデミー、(株)マイナビ、(株)さんぽう、
(株)アクセスネクステージ、海上保安庁、(株)Maenomery、(株)ジールコミュニケーションズ、
T-LIFE ホールディングス(株)＆T-LIFE パートナーズ(株)

開催日程

令和 8 年 10 月 18 日(日)～令和 8 年 10 月 23 日(金)

開会式

令和 8 年 10 月 18 日(日) 15:00～
会場：J-GREEN 堺 フットサル人工芝フィールド

会場

J-GREEN 堺（住所:大阪府堺市堺区築港八幡町 145）
J-GREEN SAKAI 堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター

出場チーム

出場 16 校（前年度優勝・準優勝・第 3 位のチームに対してシード権を与える。）
カテゴリー1　8 枠：東京 2・静岡 2・関西 4（開催地枠含む）
※登録数が多い地域には登録校数による複数枠を与える。
なお、初戦で同地区対決が無いように抽選時に配慮する
カテゴリー2　8 枠：北海道 1・東北 1・北関東 1・北信越 1・神奈川 1・愛知 1・中四国 1・九州 1

大会方式

試合は、ノックアウト方式のトーナメント戦により、優勝・準優勝・第 3 位まで決定する。

試合方式および勝敗の決定

競技時間は 90 分間（前後半各 45 分）とする。後半のキックオフ時刻は前半終了より 15 分後とする。
但し、準決勝・決勝（3 位決定戦除く）において、この時間内に勝敗が決しない場合には競技時間を 20 分間延長し、勝敗を決定する。競技時間内に勝敗が決定しない時は、ペナルティーキック方式により勝者を決定する。

参加資格

- ① 全国専修学校各種学校総連合会加盟の単一学校の専門課程在学中の学生で構成されたチームであること。
- ② 公益財団法人日本サッカー協会及び全国専門学校サッカー連盟に加盟・登録を 7 月末まで完了したチーム及び学生であること。（登録完了とは JFA 登録及び登録費の納入をもって完了とする）
- ③ 1 登録 1 チームとする。合同チームに関しては別途定める基準を満たしたチームは認める。
- ④ 出場に関しては最大 4 年までとする。
- ⑤ 外国籍選手の登録は 4 名以内とし、試合に出場できる人数はその中から常時 2 名以内とする。

試合エントリー

- ① 大会の出場校は各地域連盟から選出された 16 校とする。
- ② チームは、部長 1 名、監督 1 名、コーチ 2 名、トレーナー1 名、マネージャー2 名、選手 30 名を限度として登録することができる。
- ③ 尚、部長・監督に関しては当該校の常勤職員でなければならない。

選手交代

- ① 選手交代は、試合開始前に提出したメンバー表に記した交代要員 9 名のうち 5 名までとする。
  よってベンチ入りは、役員 7 名、選手 20 名の 27 名とする。
- ② 交代回数は各チーム最大 3 回までとする。加えて、ハーフタイム時にも交代することができる。準決勝以降の延長戦においては新たに 1 名 1 回の交代回数を加える。

- ③ 脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次の通りとする。
ア 脳振盪またはその疑いのある選手の交代(以下「脳振盪交代」)は、通常交代に含まれない。
イ 脳振盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行われなければならない。
チームが脳振盪交代を行うこととした場合、「脳震盪交代」の交代用紙を用いて、主審及び第 4 の審判員に知らせるものとする。
脳振盪交代をした競技者は、できる限り関係者に付き添われ、更衣室や医療施設に行かなければならない。
ウ 脳振盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳振盪交代の交代回数をそれぞれ 1 回としてカウントするものとする。
エ 脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1 名 1 回の交代を追加で得ることができる(以下「追加交代」)。
チームが追加交代を行う場合、「追加交代」の交代用紙を用いて主審及び第 4 の審判員に知らせるものとする。
オ 追加交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および追加交代の交代回数をそれぞれ 1 回としてカウントするものとする。
カ 1 試合における各チームの脳振盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ 1 名とする。

警告の累積

大会期間中、警告処分を受けた回数が通算 2 回となった選手は次の 1 試合に出場できない。
退場を命じられた選手は自動的に次の 1 試合に出場できず、以後の試合については規律委員会で審議し、出場の可否を決定する。

表彰

令和 8 年 10 月 23 日(金) 決勝戦終了後、試合会場にて行う。

その他

- ① ユニフォームは公益財団法人日本サッカー協会ユニフォーム規程に準ずる。試合ユニフォームは正・副 2 着を用意し、マッチミーティングにおいて審判が決定する。
- ② 正・副ユニフォームはシャツ、パンツ、ソックス毎に互いに異なる色とし、審判と同一または類似となる黒・紺系のシャツを用いることはできない。キーパーについても同様であるがフィールドプレーヤーと同色の部分が無いようにする。
アンダーシャツは、シャツの各袖の主たる色と同じ色で、1 色とする。または、シャツの各袖とまったく同じ色の柄にする。アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。なお、 同一チームの競技者は、同色のものを着用しなければならない。
色が紛らわしい場合は審判と当連盟規律・フェアプレー委員会でチェックする。背番号は正・副とも同一でなければならない。以上を満たしていない場合は連盟の定める規律・フェアプレー委員会により処分を決定する。
- ③ 参加選手は大会前に健康診断を必ず受けること。なお、選手の健康管理についてはチーム及び個人の責任として、十分留意すること。
- ④ 試合中の負傷については各チームで応急処置はするものとし、救急車を必要とする場合は大会本部まで申し出ること。
- ⑤ 期間中における怪我や事故の保険対応については、各出場校で加入している保険で対応すること。

- ⑥ 初戦の試合開始 70 分前に登録選手（ユニフォーム番号・選手証・学生証）の確認行う。
- ⑦ 試合開始 60 分前にマッチミーティングをマッチコミッショナー・審判・両校監督及び選手代表者立会いの下、連盟が指定する場所において実施する。
- ⑧ 危機事象（地震・雷等）発生時、危険と判断したときは主催・主管・協会代表者の判断にて躊躇なく中止・中断されることとし、その後の対応（再開・中止・抽選等による勝者の決定）については当連盟の定める運営責任者及びマッチコミッショナーで最終的に判断・決定するものとする。
- ⑨ 参加チームは次項のルールを遵守すること。
  ・ソックスを覆うテープは、ソックスの色と同色もしくは透明なものに限る。
  ・試合前・中・後、開会式及び閉会式では、アクセサリー（装身具）を身に付けてはいけない。
  ・ソックス内や、テープ等でマスキングしたミサンガも禁止とする。
  ・チームキャプテンは、アームバンドを着用しなければならない。単色のアームバンドで、「キャプテン」という単語、もしくは「C」という文字やその翻訳された単語文字を入れることができる。
  ※試合前・中・後、開会式及び閉会式において、ユニフォームの不備、アクセサリー着用等、大会情報に関する違反が発覚した場合、規律・フェアプレー委員会により懲罰を決定する。
  ※没収試合については違反が認められるチームの 0-5 による敗戦とする。
- ⑩ 参加チームは連盟とパートナー契約を締結している T-LIFE ホールディングス株式会社へ交通移動・宿泊施設利用・大会期間中の昼食等の手配を依頼すること。